明治四十四年六月廿五日發行
每月一回廿五日發行

婦人新報

第百六十八號

日本基督教婦人矯風會

179

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

婦人新報第百六十八號

目次

大分賣告
○社說
○人道と實際問題
○公娼制度の非認
○世に斯の如き公娼制度ありや
○內外通信
○神戶、大阪、弘前、堺、和歌山

No. 168 July, 1910

WOMAN'S HERALD.

Humaniity and Practicability.

Put up the Law of the the Public Prostitution.

No such unhumane Lawof the Public Prostitutiŏn but Japan.

W. C. T. U. News.

Kobe, Ōsaka, Hirosaki, Sakai, Wakayama.

FUJIN SHIMPO OFFICE.

No. 23, Haramachi Koishikawa Tokyo,

70 sen per Annum. Single Copy 6 sen

社告

◎婦人新報定價（郵稅共）

一　部（前金）　金六錢

六　部（前金）　金三十五錢

十二部（前金）　金七十錢

（郵券代用一割増）

◎廣告料

一行（五號活字）　金十錢

明治四十四年六月廿四日印刷
明治四十四年六月廿九日發行

發行兼印刷人　本多テイ
編輯人　横倉ヒデ

發行所　婦人新報社
東京市小石川區原町廿三番地

編輯及事務所　小石川區原町二十三番地

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

婦人新報第百六十八號

（明治四十四年六月廿五日發行）

社説

〇人道と實際問題

霖雨降りしきつていつ已むとも覺えぬ夕、靜かに點々たる軒にもるゝ雨滴を聞きながら、想をそこはくとなくめぐらせば、人の世の怖しくも忌まはしくも思ふのてある、また底ひなき悲哀の涙の滂沱たるを覺えるのてある、身内のおくのおくまでも泌み入る樣な戶外の雨には、悲しみある幾萬の人の心が滅入るばかりに絕へ入るてあらう、噫此の靜かな然かも陰欝なる夕、身には綺羅を纒ふてしかも世をはかなんて身を捨てばちに、自から死地に赴きつゝある私共の同胞の感は如何てあらうと、切に思は名のみ美はしい生きた地獄の裡に運ばれるのてある、あの哀れむべき痛ましい私共の同胞の一日の歷史を聞いた時に、私共は我身の置き處さへ失ふまでに人の世の酷薄殘忍に泣涕したのてある南方の地に行はれる野蠻な奴隷制度よりも、一層醜惡非道なる婦人に限られての奴隷制度、こんな恐ろしい課業がどこの世界に白晝公然と行はれるてあらうか、習慣は恐ろしいものてある、こんな殘酷な制度も幾百年の習慣に由つて、多數の人は左程悲しむべき事だとも思はぬ、近頃狂犬を取締る爲めに、當局が一般犬類に對する取締は、一度之を飼養した人々には實に可哀想て犬に對しては氣の毒だと思ふ位てある、之れも狂犬の害毒を防ぐ上に於て餘義ない事だと思つて居るが唯だ一匹の犬に對してさへ人間は慈愛と惻隱との心を起すのてある、口に網を張られて打ち悄れて居る番犬を見る時に、私共婦人はとくに胸に強い悲哀を感するのてある、此麗はしい優しい人の心が習慣の爲めに、動物園の獸物よりも一層嚴重に監視せられて奴隷以上の苦業を强いられて居る此の可憐なる婦人に對しては、全く痲痺されてしまつたかの樣に思はれる、而して此等哀れむべき婦人を救濟して之に眞の幸福を與へ

たいと働く人々に向つて、却て冷笑嘗罵せんとして或は公娼廢止して後の社會の風敎に就いて廢娼派の善後策は充分立つまいだの、或は公娼を廢止せば良家の妻女を如何せむとか、花柳病の傳播を如何にして防がんとか、市の片隅に汚物を置けば市の眞中に恥を晒さんでもよいではないかとか、樣々の議論がある、然しそれには自からまた成算があらう、兎も角も公娼制度は醜惡なる奴隷制度であつて人道の上に於て決して一日でも免るして置べきのものではない、人道問題ではあるが實際問題と咀齬するから之れは空しき理想に止まるのだと申したら、亞米利加の南北戰爭もなく、また精神界に於ける革明も出來なひのである、人間はいつも高き山を望むの氣慨がなくては兎ても進歩向上は出來ないのである、一國の平和を維持し社會の秩序を保たん爲めには、或は英國や佛國の樣な革明戰爭もなされたのである、一家族の一人がそのアナーを無視せられた場合には、或は家族全體が其一人のアナーを恢復せんために犧牲にならなければならぬ事もある、人道の上に一人を生かす爲めにはより以上の價をも拂らはなければならぬ場合もある、何物をも人道の爲めには捧げて然る後ちに善後策を講ずる事が出來るのである、實際的〳〵と云つたらこの世の中は實に臭氣のある世界になつてしまふ、實際的を口にする人の心のおくをたゞけは其人は慥かに平和に憬がれて居るのである、心あるものは姑息の平和に甘んじて居る事は出來ない、永久の幸福と平和は、彼等の唯一の希望であらう、風俗習慣に馳られてみす〳〵刻々死地に陷る人々を如何して、見殺にする事が出來よう、人道の爲めには私共は息の通ふ限りは叫びたい。

○公娼制度の否認（上）

島田三郎君

此問題の爲に再び同じ場所に於て、同じ問題を繰返す機會に到着したので、今日來會せられたお方々は、過日の集會にお出の方であるかどうか私共は能く分りませぬが、併し乍ら物事は、之を知るの難きに非ずして

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

之を行ふの難いのでありますから、同じ問題を同じ趣意に依り、各方面から繰返す時に私の思ひますには、諸君が此間申上げたことに付て、お考を下さつて、そうして初に疑問であつたことが自身の確信となつて現はれましたならば、其力といふものは極めて強いのでありますから、私は幾度之を繰返しましても、自身に取ては厭はぬのであります、只同じ論點を繰返すに至りましては、只此事を知り度いといふお方には、誠に倦きを生ずるであらうといふことを氣使うのであります、併し乍ら此問題は、極めて多方面に渉つて色々の關係を生ずるのでありますから、人が違ひまするに依て、更に其論は周密になります、それから同じ者が之を繰返しましても、尙ほ論じ殘したことを論じて、愈々結論に到着するのに、堅さを加へ重きを加へますれば、之を實行する上に於て一層の力が加はると思ひますから、私は辭せずして、再び此壇に登ることになつたのであります、之に付ては今迄斯ういふことが餘り東京に起りませぬ、他の斯様な制度の無い所の地方に於て、新に之を設けんとするか、或は之を他に移さんとするといふ場合には、其地方の問題となつて現はれたのでありますが、東京には嘗て根津の地方に、只今問題になつて居ります所の惡制度があつたが、之を他に移すといふことは、民間の運動に依て起つたのでは無いので、當局者があすこに置く可らすといふ所から脇へ移したのであります、此の移轉の事に付ては當時議論は提起せられなかつた、さうして其他に至りましては、依然舊幕府以來の其儘を据置いてありますから此事が世の中の實地問題として、東京には現はれなかつたのであります、只進歩を希望し改良を希望して、そうして此の惡制度を根底より除かんとする理想を抱いた人が、幾年前かに此の議論を世の中に提供した丈けに、東京は止つて居ますが、併し乍ら他の地方に於ては、屢々此事が現はれたので、私の實驗に依りますと、一番多く此事の議論をされた地方は他に非ずして群馬縣である、群馬縣で此の議論が起るといふことは偶然に非ずして、只今日本全國を見渡して之を府縣に

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

分つて見ますと、一箇所も此惡制度の痕跡を殘して居らぬといふのは、只群馬の一縣であります、此群馬の一縣が色々の機會に乘して、新に公娼を存置しやうといふ人があつて、之に反對する所の議論が起り、又之を是認する所の一種の迷へる說があつて、玆に戰爭を開らたことが、幾回の多きに涉りましたので、私は大抵其戰のある每に、援軍として群馬に參つたのでございますが、群馬の形勢をお話を致しましたら、過日大會の事に付て、私が論じました所の其議論を補ふは御參考となる可き事實を申上げることが出來る、それ故に尙ほ論ず可き餘地ありとして、私は再び此壇に立つたのであります。

大體に付て申して見ますと人は慣習に犯され易いものでありますから、群馬に於て之を廢する時には、中々劇烈なる運動がありました、それから英斷して之を廢しました後の結果を疑つて、定めて前に豫想して居つた所の弊害が起るであらうと、公平な心を持つて居つた人でも、前途を見渡す丈けの聰明を缺いた人は、頻に氣使つたが、其結果は極めて良好にして、再び此の惡風を起すといふ議論は、日々に衰へ、年に衰へて、今日に至る迄、群馬の一縣は、其の純潔を保つことが出來て、遂に私が確信して、此の公娼制度を廢して誠に結構であるといふことの信用を年と共に累ねますのは、嘗て斯樣な宜しからざる所の制度の成立つて居つた所の地方の人が、其初めに、之を廢したならば其地方の或種類の人が其生產を失ひ其富を失ふといふことて騷いだのでありますが、一度び之を廢して見た所が、却て其の繁昌を加へて誠に結構であるといふので、嘗て存せんとした所の良民は之を喜んで居るのが、群馬縣の實際の形跡であります、成績斯の如きものでありますから、私は先づ此歷史の概略をお話しやうと思ふ。

確か明治十六年頃に、群馬に此の惡制度を廢するといふ所の議論が、群馬縣會に起つた、當時の縣令、其時代は縣知事といふ名前がまだありませんで、縣令と言つて居りましたが、只今でも尙ほ生存して居られる所の老先生の楫取素彥といふ人が、誠に律義なる所の學

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

者であつた、人民に向つて誠に深切なる眞面目な人でありますが、其人が縣令の職に居りて、縣會の此決議を採用するといふことを決心して、斷然群馬縣には之を廢するといふことを決したのであります、併し乍ら一時に之を廢することは出來ないといふので、縣會の決議は、二十一年に至つて全部之を廢すといふことに決したのでありますが、其當時成立つて居つた所のものて人の知つて居つたのは、小遊廓のあつた土地は何れかと言へば、群馬縣には隨分多かつたのでありますが、其地名の名高きが爲に人の記憶に存したのは何てあるかと言へば、溫泉場として名高き所となつて、東京の身分ある所の人、或は富を有して居る所の人、是等の人が其邊に至つて頻に別莊を造り別宅を造る迄に至つた所の彼の伊香保の地方に、嘗て此の惡む可き所の公娼制度があつた、それから今一つ名高き所の場所は、何處かと言へば、今日神聖の地として見られて居つて、東京の者が一日の淸遊を試むといふので、靑年も至り或は銀行の使用人も、一日繁劇の土地を離れて閑靜な土地に健康と精神を養うといふので、出掛けて行きますに好適地てある所の妙義山てあります、山川極めて結構てありまして、風景甚だ宜しくあつて、空氣も宜しい、健康地として認められ、好風景の地として認められて居る所のあの妙義山、此妙義の町に、此の惡制度があつた、それから更に產業地として、苟も日本の養蠶の事に付て智識を持て居る所の人は、關東に於て島村を知らぬ者は無い、群馬縣の島村と言へば、養蠶の名高い所で、養蠶に關係して居る者は、外國人ても島村の名を記憶して居る、一般の人は知りませぬが、兎に角內外に名高い村てありますが、其村には矢張り小遊廓の如きものがあつた、公娼の名を持つて居る所の者が、矢張り此縣會の決議と、縣令の英斷に依て、二十一年に群馬縣は悉く之を罷めたのてありますが、其當時其地方の迷へる人、識見なき所の人、又此惡事業に關係して居る所の人、是等の人が相集つて、之を廢するといふことは、第一に人の遊び場となつて居る所を減ずると言つて反對をした、是等は極低

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

い考で、倫理人道、そんなことは、一向頓着なく、世の進歩、或は國民の品性の改革といふ樣なことに一向頓着なく只其處を遊び場所として繁昌して居つた其の繁昌を失ふものであるといふ氣使ひを凡庸の人は持て居つた、稍々是より高き所の考を持て居る所の人は衛生の爲に、一ツ斯樣なる場所を其地方に設けて置けば、此處が不健康地となつて居る代りに、他の地方は健康地となることが出來るから、之を廢するのは、健康地と不健康地の混亂になつて、危險であると言つて此の廢止に反對をした、それから風俗の上て申しますと、警察の方は、矢張り斯樣なる地域を限つて公娼の制度を設けて置かなければ、取締に困るから、之を廢するといふことは、風俗の方の取締が極めて危險であるといふのが、警察の方の反對である、更に最も笑ふ可きものは、高崎の地方には、軍隊が居りますが、是等軍隊の壯丁の集りて居る所には、遊び場といふものが無ければ、良家の迷惑になる、壯丁の人が遊び場が無い爲に風俗を破る虞があるから、軍隊の必要機關として之を設けて置かなければならぬといふ反對があつた、斯ういふ樣な笑ふ可き反對が種々あつた所が、今日に至つて其形勢はどうであるかと言へば再び此地方に此惡制度を設置したらといふ者は、良民の中には全く無くなつたのであります、其後屢々群馬縣に之を設置しやうといふ運動が起つたが、大抵其の內部を調べて見ますと、此地方に此制度を起して、未だ開けざる所の地價の安い所に遊廓を拵へて、其地價を上げて、此特許を得る所の手數料を取り度いといふ一種の不良の徒が之を企てたといふことは事實である、又東京に居る惡む可き惡慣習を人間最大の利益と思つて居る者が之に金を投入して、愈々遊廓設置の許可を得たならば、其事業を私が總て受持つと言つて、其方の人が金を使つて政治の方面を腐敗せしめて、縣會に此の議論を繰返さしめたことは一再ならず、三度も四度もあつたのでありますが、幸に其縣會の健全なる議論が、之を撲滅くて幸に現在の縣知事は、自分が在職して居る間は、如何なる論が起つても斷じて之を採用しないと

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

いふことを、矯風會の人に向つて公言した程に、健全な議論が當局者の中にも盛になり、縣會にも盛んになつたので、嘗て此の惡制度を再興しなければ、軍隊地方に於ては風俗を保つことが出來ぬ、又衛生の爲めに危險であるといふ樣な論は、殆ど無くなつた、其實驗に徵して見ますれば、此問題に付て疑を抱いて居る所の人は、實驗の結果、我々の說に是非共贊成しなければならぬ、若し邪曲の心を以て、私利の爲に事理を紊る人であるならば、議論を以て正理を以て之を改めさせることは頗る六ヶしいのでありますが、見識足らずして是非の心に迷ひ、其心は惡しき人に非ざるも智慮の足らざる爲に、迷つて居る人があるならば、只今私の提供した此議論に依て、確に其心を飜へされるだらうと思ふ、(拍手喝采)

嘗て迷ひし人も今日に至つて、確信して此の制度を否認する斯ういふ實例に付て私は諸君にお話しすることとが出來る、彼の伊香保に於て、木暮武太夫といふあすこに久しく湯の營業をして居る舊家がございますが承はる所に依りますれば、伊香保の地は、甲州の落武者が開拓いたといふ傳說もあります、或は新田氏の餘類があすこへ落ちて行つて、其時人口の無りし伊香保の地を開いて、此處に村落を拵へたといふ說もありますが、何れにしても伊香保の地方の大屋と唱へられて居る家は、何處かの家柄の人があすこに落ちて行つて、さうして其率ひて居つた所の家の子等士卒が、あすこの地借となりて、其中の頭分が地主となつて、世の變遷と共にこれがあすこの大屋となつたに違ひないといふのは、相當の推測であります、其舊家の一人であつて、屢々衆議院議員に選ばれた木暮武太夫といふ人が私に語つて、言ふに、嘗て伊香保に、此の惡む可き汚れた所の　業があつた時は、正しい人は伊香保へ來ることは忌やがつた、それが爲に伊香保の風俗は甚た汚らはしく甚だ低いものであつて、風景の佳いのを喜んで來る者無く、又た湯の効驗を喜んで來る者なく全く酒食遊蕩の地となつたのであるが、此の公娼を廢してから後になつて考へ合せたことがある、其時繁昌

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

と思つて居つたのは全く間違てあつて、此の制度が一度び止んてから、天の與へた所の靈泉の効驗が全く現はれて、身分ある人が、夏の暑い時分は、一二箇月も滯留して靜養を試みんとする所の人が遠近から來る樣になつたから、道路も開け、産業も開けて、今日に至つては清淨な土地になつた、或は宮内省の出張所も出來ることになつた、或は富豪も此處に別宅を造ることになつた、從つてあすこに集る人の自然に欝を慰めると同時に、其人の識見を開くといふ學術の集會も伊香保に行はれるといふことになつて、伊香保の風俗は一變して結搆なものになつた、之が爲に確實なる所の眞正の意味に於ける繁昌が伊香保に加へたのてありますから、當時之を取去つたならば、伊香保の繁昌が衰へるてあらうと迷ふて居つた人が、今日に至つて一言此に及ぶ者無く、今日になつて若しあの地方に、此の惡む可き所の古き習慣を再び興さうといふ議論があつたならば、恐らくは伊香保全村反對の聲を揚げるてあらうと思ひます、如何となれば、伊香保の品格と繁昌といふことは、之を廢したが爲に加はつたものが、再び之を破壞することを恐るればなりといふことが、是が確實なる證言てあります、此人今生存して、矢張り此業を營んて居つて、群馬縣に於ては、相當に名を知られて居る人てありますから、私は公衆の前に於て、此人の名を指して、其の證言が一點疑ないといふことを申しても、來會諸君が之を信ぜられるてあらうと思ひます。

更に私は之を産業の上から申して見ますと、今申上げた島村といふ地方は、最も肥えた土地であつて、桑に適した土地てある、之が爲に養蠶の種紙を拵へて海外に迄其名を知られた、伊太利に於て種紙が嘗て蟲の害に罹つた時に、日本の種紙を輸入した人は、必ず島村の名を記憶して居つたに違ひない此島村にも小遊廓があつたが、當時の人は、此遊廓のある爲に、島村の繁昌が維持せられると思つた所が、縣會で遊廓廢止のことになつた時に、遊廓が廢止になつたら島村の繁昌が衰へるといふことて、反對てあつたが、一度て廢止

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

の令を施行して後の島村の形勢はどうであるか、若も斯の如き者があつたならば、養蠶の時節に多く工女が入込んで、さうして日に三十錢か五十錢の給料を貰ひ襷掛けて甲斐々々しく木綿の衣服を附けて、健全に國の產業を發達せしむる爲に働く者が、決して今日の如く多く此處に集ることは出來ぬ、一方に人の良心を破壞する所の者がある、身には絹の衣服を纒ふて、さうして餘所から見ますと、誠に遊惰の若き婦人がある、心無き婦人を誘ふ者がある、此處に放蕩な男子が入込んで來て、道德の根底が崩れて風俗が紊れて居つたならば、今日の如く島村の產業が健全に發達することが出來るかどうか、此の惡制度が一度び廢された後に、島村の繁昌が加はつて、眞正の意味に於ける富が增したのであります、(拍手喝采)それだから今日に於て島村の不良民が再び斯樣なる惡制度を起すといふことてあつたならば、此の全村擧つて反對するといふことを矢張り此地方から健全なる聲を聞くことは、日本の爲めに極つて喜ばしいことだと私は思ふ。(拍手喝采)

○世に斯の如き公娼制度ありや

安部磯雄君

木下君がお話になりました樣に、木下君と私とは隨分昔此演題に立ち又其外の演題に於きまして、共に言論を以て色々な問題と戰つたのであります、私は木下君と共に演說をすることを非常にいつも喜んで居つたのであるが、又或る意味に於ては、非常に私は一所に演說をすることに困つたのであります(拍手)それで後にはいつでも私が色々な理由を構へて、初めに私が演說をして、それから木下君に跡にやつて貰うことに大概やつて居つて、これは諸君も御推察の通り、實に木下君の雄辯又其思想の奇拔なることは、今に初まつたことでないのであります、(喝采)迚も木下君の跡に演說をするといふことは、尋常の人では出來ないことである(喝采)私は平生木下君を能く知つて居る人々と共に木下君の事を批評する時には私は一言以て之を評すれば、木下君は實に天體である、決して當り前の軌道を通る所の人で無くして、若し天體に譬へるならば、彗星である(喝采)今晚は久し振に木下君と此處に御一所になつたのでありますが、今迄の慣例を破りまして私は跡になりまして、木下君に先に演說をやつて戴くことになりました、是に私は多少考があるので、今晚は此度木下君が彗星の如く、又奇拔なる所の思想を吐かれて、或はハレー彗星の如く多少地上に損害を及ぼす(拍手喝采)若しさういふ事が起つたならば幾らか私も世界の爲に其損害の始末をすること

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

が出來はしないかと思ふたのである、所がヘレー彗星と同じく、思つた程の損害は甚く無つた樣でありますが(笑)玆に木下君の說に付て私の批評を試みる所の必要は無からうと思ふ、如何にも私は木下君の說に大賛成であつて、私も實は此處でお話をするならば、木下君の樣な立場でお話をしたい、只私は此處で附加へて申しますならば、是は平生私の申して居る言葉で先にも木下君が、私が前に木下君と一所に社會主義の運動を爲したといふお話があつたのでありますが、此社會主義の事に付ても、經濟學者の組織して居る社會政策學會の人々から色々な批評を受けたことがあるどうも社會主義はいかぬ、社會政策で無ければいかぬといふことであつた、それで其時に私は一つの文章を書いて、之を矢張り木下君の關係して居られる所の新聞に出して貰つたことがある、其時の私の取つた譬喩を申しますならば、我々社會主義者は、新橋から神戶に行かんとして居る、社會政策學會の人は名古屋に行からうとして居る、我々社會主義者は遠く迄行からうとして居るが、彼等は或る一部に行からうとして居る、それは諸君の勝手だ、併し僕等はどうせ名古屋に行く、神戶に行くのだから名古屋迄は仲善く行き度い、どうせ道連れであるといふ譬を取て、向ふから敵意を持て來ても、こちらには敵にする理由が無い、どうせ一所に行くといふことであつたが、今晩簡單にお話をするのも其趣意である、若し目的を言ふならば、木下君の言はれた通りで、私共もそこに根本的解決を下さなければならぬ、それに付ては私共聊か異存が無い、併し乍らそれは、神戶といふ樣なもので、大體的の解決をするといふ迄に、矢張り小さい解決をやつて行かなければならぬことが幾つもある(拍手喝采)本來の道筋は同じであるから、どんなに急行に乘て行つても、矢張り神戶迄行くには、其道を通つて行かなければならぬから、根本的解決には如かないが、併し世の中の事は、根本的解決は、跡から來るので、初めには政治の解決もあり、經濟の解決もあり、それが先だつて來るといふことは私は爭ふことは出來ぬ樣に思ふ(拍手喝采)それで此の廢娼問題の如きに至りましては、それは根本的の解決から行かなければならぬ、是れは姑息であるといふことはどうしても私共自白しなければならぬ、併し其根本的解決迄待つて居ることは出來ぬ、どつちが早いかと言へば、表面に現はれて居るものから、先に片附いて行くといふことは、世の中の歷史を見たら私は明かであらうと思ふ。(拍手喝采)

それで本論に這入りまして、廢娼の問題に付ましては私は極めて簡單明瞭では無いかと思ふ、何せ存娼をするかといふと其人の議論といふものは、要するに、それに依て此病を防ぐことが出來る、詰りそれが問題だ、誰も之を以て道德に協つて居ると思つた者は一人も無い、已むを得ない所の制度であつて、其制度を置くといふのは、之に依て惡い所の此病を防ぐといふのである、所が此病を防ぐといふことに付ても、是は甚

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

だ怪しいので、實は今晩其事をお話を致したいと思つたのでありますが、之を話す時間が無いから、其病を防ぐことにはならないといふ、只結論丈けして置いて、別に此處では委しく申しませぬ、世の中の人が思つて居る通りに、今の公娼制度で、イヤな所の病氣が防げると思ふならば、それは間違であるといふことは私は斷言して置きたいと思ふ、詰る所今度の問題は、其病氣を防ぐといふことにしても、今の樣な制度でやつて置くか、或は暗がりにやつて仕舞つて其病氣を防ぐかといふ問題になつてくる、是は先に島田君がお話になりました通り、全く私の見方といふものは、是は下水と同じだと考へて居る、どうせ都會の生活をするといふことになつて來たら、我々は臺所で使う水と、又洗濯物に使う汚水といふものが、都會にあることは是は免れないことである、只問題は汚水といふものを東京市の樣な風に溝を設けて、さうして表面に汚水といふものを流して置くか、或は地下一丈位掘り下げて、其處に鐵管を通し、完全なる下水を造つて流すかといふ問題になつてくる、是で私は非常に自分の心に面白く感じたのは、丁度今東京市が、下水の問題を解決せんとして居る際に、丁度此の吉原の問題が起つたといふことは、餘程面白い事柄では無いかと思ふ、歐米の都會に於きましては、今日大都會には完全なる下水の設けて無い所は無い、世界中で、下水といふものを町の表面に流して居る所は東京丈けだといふことは、これは斷言することが出來ます、然るに今度三千三百萬圓を掛けて下水を造るといふことに付て、東京市に於て議論があつたが、容易にまだ着手しさうも無い、隨分中には詰らぬ所の議論をする者がある、今の設計では大小便を流すといふことであるが、日本人の使う紙は質が硬いので、あーいふものを鐵管で流したら、詰つて仕舞うから、これは止めたが宜いといふ者がある、併し便所に使う所の紙を今の日本の紙で使はなければならぬといふことが法律で極つたことでは無い、そんな馬鹿なことを東京の市會議員が唱へる者がある、紙杯はどんなものを使つても宜い、さういふ惡

い紙を使つて鐵管に詰る様にしたら、家主が損をするからそんな自分の損をする様なことをする者は無い、左様な事を以て此問題に反對しやうといふのは愚の話だ、是が矢張り公娼問題の暗示にもなると思ふ、要するに我々は、汚ない物であるならば、表面に置かずに裏面に置いて流して行つたならば、社會衛生の上から言つて、遙に幸福であると思ふ、其點に付て、私は公娼制度といふ事柄を、此處で多く論ずる必要はありませぬが、公娼制度といふものを一番に私が惡いと思つて居ることは、金を以て人の節操を買ふことの出來るといふことを表面に現はして居るといふことが、是が一番此社會の害毒を流すことである(拍手喝采)それは賣淫といふものは、世界中何處に行つてもありませう、併し乍ら日本の様な公娼制度といふものは、世界の先づ重もな所の國々に於ては、見出すことが出來ぬ、恐らくは外國の人々が、此女を買ふといふ所の言葉を使うといふことは、どうも私は今迄聞いたことが無い、女郎買とか藝者買とか、買ふといふ言葉は、何處から起るかといふと、公娼制度でなければ、斯ういふ言葉は用ひることが出來ない、恐らくは此の買ふといふ所の思想はどうも、西洋人には私は無いかと思ふ、さういふ言葉を未だ見たことが無い、此の買ふといふことは、如何にも些細な言葉であるけれども、私は是が今日の日本の此社會全體に、どの位思想上の害毒を流して居るかといふことは、私共の想像することの出來ぬものであると思ふ、女といふ者は、金錢を出すならば買ふことが出來るといふことは、茲に公然吉原といふものがある以上は、極清淨無垢なる自分の頭にも浮ぶ、女といふ者は買へる、金錢があるならば、自分の自由にすることが出來るといふことは、是が清淨無垢なる所の青年の心に這入るといふことが、是は私は氣遣はしいことでは無いかと思ふ(拍手喝采)若し之を社會全體に許すといふことになつて來たならば是から色々の事柄が起つて來ます、例へば此の公娼で無いても隨分此世の中には、妾といふ者を買つて居る人がある、是も矢張り買ふといふ思想があつて、蓄妾

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

矢張り金を貯蓄する様に、妾を蓄へる、決して人間と見て居ない、貨物と見て居る、英語で言ふコンモデチーと、女といふ者を見て居る、其思想が一般にあるから、此日本の上流に立て居る人又富豪といふ人達は、大概此の妾を買へといふ様なことは普通の事であると考へて居る、けれども私は始終思ふのでありますが、倫理といふ様なことは、實に習慣であつて、全く習慣性に養はれて倫理思想を持て居るが、其倫理思想にどれ位撞着があるか、今日はさういふ風に金錢で買うといふことは差支ないが、併し乍ら若し玆に青年の男女があつて、二人の意氣が投合して密會をするといふことがあれば、それは風儀を大變紊すといふので今日抔は、文部省抔が躍慣となつて、青年男女の風儀を正しくしなければならぬと頻に世話を焼いて居る、併し私が考へるに、金錢を以て無理に向ふの意思を枉げさしてこちらが買うといふことゝ、兩方の意思が疏通して密會をやるといふことは、倫理の上でどちらが善いか惡るいかといふと、私共の習慣の道徳ならば、

密會をするのは惡いと言ひますが、實際の倫理から言ふたならば、直ちに善いか惡るいかといふことは分つて居る、世の中の例でも分子が、强盗と竊盗とどちらが惡いかといふことは、今日の法律では明瞭に分つて居る、淫を買うのは强盗であります、意思が疏通して密會をして居るのは、罪は竊盗位にしか當らぬ、(拍手)之を今日の社會が竊盗を惡んでさうして强盗の方は差支ないといふことであるならば、それで以て社會の道徳といふものは保つて行けるか(拍手喝采)此一つの思想、所謂强制的に人の操を破ることが出來るといふことを社會が是認して、社會を代表して居る政府が認可をして營業させて置くといふことは、政府殊に文部省のやうなものが、國民敎育を説いて青年子弟の道徳を奬勵するといふことは、私の見る所では、撞着の甚しきものと思ふ(拍手喝采)それだから世の中には實に不思議なことが澤山ある、それは今の金錢で以て女を買うといふことは、罪惡でないと思つて居る人が澤山あるから、先に木下君の言はれた如く、ボッケッ

ト論語を持て居りて、一方には妾を畜へるといふことも出來る、日本ならば……一方に倫理の書物を持て人の前で講釋し乍ら、一方には蓄妾をするといふことは、日本の道徳から言ふならば、少しも不思議は無い、斯ういふ一般の風儀といふものが社會に行はれて居つて、日本の風儀を改めて行かうといふのは、實に困難なことては無いかと思ひます、どうしても根本的に、世の中の一番惡いものを我々は止めさせるといふ考が無ければならぬ、(拍手)世の中には、或は境遇の上からしてさういふ風な汚ない所に近づく人がありますけれども、一方には清潔の家庭に生れて、さういふことを考へない所の多くの青年男女があるといふことを私共考へなければならぬ、所が公娼制度といふことがあるならば、私共自分の家庭でも些つとも油斷が出來ぬ、何ぜならば思想上に一つの惡い所の黴菌といふものが這入つて來る、是は始終襲ふて來る、若し是が社會の極暗い所に行はれてありて、何處にさういふ不潔な場所があるか分らぬ、其道の人て無ければ分らぬならば、それを知つて居る人が其處に近づくのは自業自得だから仕方が無いが、何も關係の無い者は、下水が何處にあるか分らぬ樣に、金錢を持て行けば必ず女を買ふことが出來るといふさういふ思想を無邪氣なる所の青年男女の心に之を入れなくして濟む、此點から考へれば、吉原の火事の爲に多くの東京市の家を燒いたといふことは、是は英語て言ふ所のシムボルて、何か一つの表徴て、精神的に考へるならば、吉原から出て行く所の精神的の惡い感化が、東京市の全市の人に及んて行くのは、火事よりもモッと甚いと思ふ(拍手喝采)人々は非常に黴毒といふことを怖れますが、黴毒といふ者が傳染して行くが、是はペストや虎列剌の樣ては無い、ペストや虎列剌てあつたら、自分が幾分警戒して居つても、いつ來るか知れぬ、けれども黴毒といふ樣なものは、其處に行きさへしなければ、傳染しないといふことは、確實に分つて居るから、安心が出來る、所が其黴毒といふことよりも、精神的に人の心を害して居る公唱制度といふものが、精神的に害毒

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

を及ぼして居ることは防ぎ切れぬ、清潔な家庭に育つて居る青年男女が、新聞や小説にいつの間にか黴菌を得て居る、其の黴菌が精神に移つて行つて、それから後に黴毒といふものが其人に移つて行く、決して黴毒の方が先に移つて行くのて無い、斯様に考へて見るならば、私共今日の急務といふものは、どうしても此の無邪氣なる所の人々が知らぬ家庭に、此の感化を受けるといふ様な、さういふ不幸なる所の基てある所の公娼制度は之を取去らなければならぬ、社會衛生の上から考へたら、私共はどうしても此の制度を取去つて、それから後に至つて、青年男女の風儀を矯正することに切入つて行くことが出來る、一方の窃盗を許して居つて、一方の强盗を警戒を加へるといふことは、私は事の順序を違へたものてあるまいかと思ふのてあります(拍手大喝采)

内外通信

○神戸支部通信

五月廿八日、午後二時より日本基督教會に於て、地久節祝賀會を開く。出席六拾名、執行順序左の如し。

司会　鈴木直

一、奏楽　永松貞
一、讃美　四三　一同
一、聖書朗讀、詩、九七篇　司会者
一、祈禱　渡邊會長
一、君ケ代　二唱　一同
一、地久節唱歌　女學院生徒
一、演説　渡邊守成氏
一、讃美(國歌)三七三　一同
一、祝文　仁兒嬢
一、感話　渡邊會長其他
一、讃美(國歌)三七〇　一同
一、祈禱　司會者
一、頌栄　四六二　一同

渡邊氏は國母陛下の御聖徳をたゝへ、教育事業に、慈善事業に、御心注がせらるゝふし〳〵語られ、延び

て我等矯風會員の責任に及び、國體として外に、正々堂々、罪悪と戰ふと同時に、個人としては家庭を潔め、高潔にして、堅固なる家庭の基礎を据ふる事之れ最も大切なる旨を力を入れて説かる。會長は女子の力たとひ小なりとも、撓まず、倦まず、屈せず、働きつゞけたらんには、遂には勝つ可き事、殊に我等が注意すべきは、虚榮を戒む可き事なりと語られしに、一姉妹は立て其善例として、今日參列の渡邊教師夫人の質素を賞揚せらる。

嚴粛に　陛下が聖壽のさかえまさん事を祈りつ祝ひつ又併せて我等國民の國家に報ずべき道を考へ、クリスチャンとして、矯風會員としての責任をさとされ、大に覺醒せらるゝ所あり。

大澤博士著、酒害新説、本日を期して、市内四十七校に一部宛送呈す。

第十三回年會

六月三日午前十時より、第十三回年會を美以教會に開く、始めに柳原姉の司會にて祈禱會を保ち、熱誠なる數名の祈禱あり、直ちに年會に移る。左の通り執行す。

一、讃美　一一〇
一、聖書朗讀　太廿五。一　渡邊會長
一、祈禱　三瀬副會長
一、會長演説
一、報告　1書記報告　2會計報告　3課長報告
一、役員改撰
一、議事　婦人ホーム設立につき
一、入會勸誘　一名入會
一、祈禱　川本姉

右を以て午前の會を終り、直ちに會堂附屬エポース館樓上に、晝餐を共にし、續て親睦懇談會に移る。

午前の集會出席四十三名、内三十九名會員、

午後の集會出席四十名、

會長は其實に働く可き事を懇にと説かれ、一同甚く勵まさる。諸報告の記載は之を省く。

役員改撰の結果は、

會長　渡邊常子姉(再選)
副會長　柳原たけ子姉

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

會計　岩本久江姉(再選)

書記は會長の指名にて鈴木直子姉再び擧げられ、尚本日東京本所矯風會より本會に轉入せられし辻なみ子姉を書記に擧げられ、會計亦一名の輔佐上田光江姉を加へらる。

婦人ホーム設立につきては、委員會より提案、會長の說明あり、森姉贊成の動議あり、大多數を以て可決、尚ほ其方法等委員に於て篤と協議の事とす。

午後の親睦懇談會は極めて有益に營まれ、婦人ホーム設立資金募集の方法に就いては大に意見の交換せらるゝあり、其外母之會課、風俗課等の働きにつきても議する所少なからず、愉快に談笑時の遷るを不覺、最後に今夜青年會より招聘せられて講演せらるゝ、會長渡邊姉の上に恩寵ゆたかならむ事を祈り。割愛して別れしは四時頃なりき。

○大　阪

○少年少女大會

五月十四日第二日曜午後二時より土佐堀青年會館に於て開る此日は生憎の降雨にて正午頃より風さへ強く加はりければ市內遠方の日曜學校生徒の集會はとてもおぼつかなく殘念に思ひ居しが頓て時刻至るころ數百名の稚なき男女はかひ〲しく袴の裾かゝげ傘のしづくも厭はてけなげにも風雨と戰ひつゝ各々教師に導かれ續々會場へ繰込しかば記るし旗の數も彌增て已に準備しつゝありし少年課長等の喜びも一方ならず却て少年少女等の勇氣に勵まされ開會の時來りければ司會者淸水芳吉君登壇せられ左の順序を以て各々うたひ語らる何れもあつぱれ若き武者振は我々日本の第二國民としていと心強く勇ましく感じたりき殊に西坂先生の奬勵は實に愉快におもしろく聽衆兒童はよゐるが如くたのしく聞居たり當日八百の準備せしも全く空しからず來會兒童五百人教師凡百名なりければ一同へ菓子一包

つゝ呈して五時過ぎ無事散會を告げぬ歸りは雨も休みたれば樂しげに歸りぬ、又殘りの菓子を博愛社救兒院病院等へ寄附す

順　序

一讃美歌四二三	會衆一同
二聖書朗讀	司會者
三祈禱	仝
四開會の辭	西野課長
五唱歌	讃主、少女組
六演説犬と猫	島の内藤中博
七各組共勵	九條七名
八唱歌	浪花少女組
九話若武者	東寺内發雄
十讃美獨唱	浪花浸禮前田タイ
十一話	南女生徒
十二表情唱歌	北同村上岸江英子
十三話感心なる太郎	難波日基福壽清一
十四演説神の聖殿	ウヰルミナ大山志男
十五唱歌子供の日	西少女數名
十六話	保羅西原敬三
十七唱歌	上福島數名
十八話	約翰眞島秀香
十九唱歌	天滿女生徒
二十奬勵	少年世界主筆西阪氏
廿一君が代二唱	一同
廿二祝禱	牧師

○地久節祝賀會幷妃殿下平癒感謝會

五月廿八日午後二時より北野梅花女學校講堂に於て同校生徒諸氏と共に地久節祝賀式を擧く司會者名出夫人にして讃美歌三百七十二番を唱ひ西山姉聖書朗讀祈禱につぎ長田校長の祝辭にそへ創世記を引照してイサクより學ぶべき教訓數點を語られ生徒諸孃の金剛石の歌ありて後西野貞子姉亦祝辭に併せて矯風會につき所感を述へらる特に吾等主より撰はれし責任ある身はたとへ世人の適々惡評なとには耳をかさす唯善事のためには躊躇せず働く事の肝要を敎へられ一同大に反省したり終りて遠方の生徒方は退場せられ次に　東宮妃殿下の大患御平癒遊はされしを喜び感謝せんとて數名の姉妹熱心に神に祈禱を捧げらる

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

君が代を二唱して式を終へ
次に時事問題東京本部運動の顛末につき豫て上京せられし林會長より實驗談を聞く閉會後別室に於て一同茶菓の饗應をうけたり散會五時
出席者　百餘名　入會者　數名

新入會員

石上ゑつ	安東忠二郎	安東庸子
安東八重子	山崎靜子	岡本達子
岩本たま子	湯川千代子	三島敏子

〆九人

會報

約翰教會員梅田ふみ姉は先月來大患にて目下大阪病院へ入院兩三回手術後異常なし姉は約翰救兒院の母として就職二十年來謙遜温順而も勤勉にして多くの孤兒を養育せられつゝある尤も大任を負へる方なれば愛する姉妹方同情を以て朝夕の祈りに加へ玉はらん事を願ふ
姉が社會のため身を捧げて盡さるゝ勞を犒ひ矯風會有志より聊祝意を表したり
過日教育課の催として催したる小學教員集會の都合により少數なりしかば折角千部準備の聖書を多く其儘にせんもいと心本意なく又幾分寄附者の方へも濟まぬ事とて林會長は數日を費やし市內各小學校九十五へ各々聖書三冊及婦人新報一冊添へ慰問せられ校長に親しく相語り今後の道ひらきせられし事は誠に幸なりき

○弘前

四月十五日午後二時より元寺町教會堂樓上に於て例會を開く會頭高谷とく子姉の司會にて讃美聖書朗讀小鹿いと子姉の祈禱書記の前回記錄朗讀の後牧師小鹿元次郎氏（婦人の天職）と言ふ題にて其講演の大要は左の如し
一男兒の天職は武勇膽力即ち戰爭の如く婦人は柔和、博愛、謙遜、從順、貞操、信仰、の如きものなること
一獨逸皇帝の如きも又婦人に三つの特性あり即ち庖廚信仰、子女の養育と仰せられたること
一ヨハネ十二章の（マリヤ）と言ふ婦人の香油を（キリスト）の足に濺ぎしに其香氣室內に滿ちたる例を引きて婦人たるものは宜しく此マリヤの如く香はしき德性を家庭の內又は社會に普及することの最も力あることと
一日本今日の弊風は眞の主敎を信ずる者の缺乏に原因することと即ち家を治むるも凡て宗敎の力に依らざれば出來得ざること
一或人の言葉に子供の生涯は第二の母なりと言ふ事

以上の事に就き一時間餘も懇切に語られ一同大いに益せらる夫れより讚美を歌ひて閉會せしは同四時頃なりき

五月二十日午後一時半より下白銀町アイグルハート氏宅に於て母の會矯風會社聯合會を開く

母の課長山鹿よし子姉の司會にて讚美聖書朗讀禁酒禁煙課長乙部とく子姉の祈禱書記高杉つる前回記錄朗讀の後アイグルハート夫人のピヤノ獨奏幼稚園主任今田ちす子姉幼稚園と家庭との關係につき數年間の實驗談及び外種々有益なる講話をせられ來會者一同大に益せらる讚美を以て一時閉會を告げ失より夫人の厚意になれる茶菓を喫しおもひ〳〵の懇談に時の移るも忘れ愉快に散會せしは午後五時頃なりき來會者二十一名

○吳

春雨しめやかに降る三月廿二日午後二時と云ふに當市中通聖公會に於て母の集例會を開く

此日介川姉司會のもとに讚美祈禱及聖書の朗讀あり宇津醫士の小兒寒冒につき熱心なる講話あり來會者の種々なる質問に應じていと細やかに且つ明かに說明を給ひ一同大に得るところあり四時閉會せり當日雨天のため來會者二十一名に過ぎざりしも最も惠に滿てゝ有益なる集なりき

五月二十三日中通日本基督敎會、々堂に於て母の集例會を開く

午後二時といふに宇津夫人司會のもとに讚美歌百二十二番を以て始め開會の祈禱及聖書二章、十八節の朗讀あり讚美二百六十八番を歌ひ直ちに吳中學校長文學士宮本正貫先生の中等學校敎育につき多年の御經驗をもて最も有益なる講話あり子女を持てるもの持たぬものゝ分ちなく共に得るところありたり讚美を歌ひて閉會す

此日來會者三十五名、新しき夫人令嬢も見へて近來の盛會なりき

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

○堺

明治四十四年六月十九日午後二時より本會事務所に於て年會開催せらる万代要子姉司會の下に讃美聖書朗讀祈禱につきそれよりメソチスト教會牧師白石和三氏の有益なる奬勵ありたり其要は先私生兒、壯丁落第者、離婚者等の統計或は新聞紙三面記事に徵して如何に我現社會が腐敗せるかに鑑み之が救濟策としては法律の制裁、教育に於て並に宗教殊に基督教感化の三あるのみ吾等神を信ずる輩宜しく立て國家社會の前途を豐富ならしめん爲少年少女の未だ惡流に染まるに先ち之に對する反發力を强固ならしめ我等の身體は活神の殿なりてふ觀念を强よからしめ而して彼の良心の働を鈍らず酒煙草に觸れざるのみならず之を恐るゝ樣教育し以て家庭を清め社會改善を計り犧牲獻身以て自ら任ずる矯風會々員斯業發達の爲愈々奮發すべきを懇々述べらる新年度を迎ふるに際し一同大に新しき覺悟を待るに司會者の祈禱にて一段落を告げこれより役員改撰を行はれ當撰者左の如し

會長	万代要子	通信書記	赤澤よし子
記錄書記	尾形こま子	會計	三宅ゆき子

西林老兄の祈禱を以て閉會茶菓の饗應ありき次に役員會に於て左の如き課長を撰定せり

傳道課長	角田幾子	風俗課長	永田時子
小兒課長	鈴木ハル子	慰問課長	黑田良子
母課長	三宅ユキ子	交際課長	大枝カ子

以上

○和歌山

母の會三月三十日午後二時より十二番丁救主聖公會々場に於て開催吉村課長司會の下にまづ祈禱、讃美歌ありてのち本日特に御來和を乞ひたる神戸頌榮幼稚園保姆主任和久山きそ子女史の御講話を伺へり女史は其豐富なる學殖と多年の御經驗とに基きて「幼兒の五官作用」に就て微細なる點に亘りて觀察を向けられ其母親たるもの丶保育上の注意を親切に教へ示されたり。右終つて瀧本會長より入會のすゝめ等あり親入會者三

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

名ありぬ出席者會員其他合して五十餘名
同日夕六時より丸の内多賀館に於て特に市内三幼稚園の保姆を招待して集會を催し和久山女史より「幼稚園保育」に關して種々有益なる御話あり保姆の出席者十名（全員十一名中）にして保育上の不審を質問しまた實驗を語りなど互に親睦の中に保育上の好參考を得られし如くなりき出席者和久山女史初め市内保姆十名と役員會員十數名なりき

時事

置娼問題の解決

本會設立の初機ともなり幾多善良なる市民の日夜念頭を去らざりし我市公娼設置案は愈本月九日不許可と決定されぬ我等の願はきかれぬ如何にしてか天父に感謝しまつるべき五月十一日大坂朝日新聞は特に號外を發して此事を發表せり號外左に附記す

一、和歌山市多年の宿題たる公娼設置運動は兵營設置以來益其度を高め本年二年紛擾に紛擾を重ねたる結果市會の建議となり十三に對する十七の多數にて公娼設置建議案可決され爾來公娼派は陳情委員を內務省に派遣する一方又和歌山市の基督教信徒は京坂の新聞社を訪ひて反對運動を爲すなど互に激烈なる運動を繼續しつゝありしが愈九日に至り川上知事は地方長官會議を終り歸縣の上加藤市長に不許可の旨口頭にて傳へたり市長は同夜開會の和歌山市參事會に之を傳達せり近々和歌山市會開會を俟つて市會に報告することゝなれり

（以上）

付記

會員の異動

副會長岡本姉は今度京都市へ轉居さるゝ都合になり五月廿八日送別會を開き四月一日出發せられたり
委員仙石けい姉四月五日神戸へ轉居せらる

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

救世軍大佐 山室軍平著

公娼全廢論

誰が何と申しましても、公娼は斷然廢止しなければなりませぬ。吉原の假宅が許されても、公娼の全廢す可き道理に變りは御座いませぬ。飽く迄公娼全廢を絕叫し續けるのが、矯風會、靑年會の主旨で御座います。其には皆樣が公娼の全廢す可へき理由を、ハッキリと胸の中に御會得なさるのが、肝心。本書は廢娼論の中では、一番立派な議論で御座いますから、本書を一先づ讀んで、廢娼の急務を了り、人に讀ませて廢娼論者に引き入れるのがよろしい。

定價 拾錢　郵税 四錢

御註文部數多ければ大割引致します!!!!

救世軍大佐 山室軍平著

靑年への警告

人が墮落してから、騷いで矯風だ救濟だと怒鳴つても、其時は遲い、何ても誘惑が來るよりも先に、機先を制して忠言を先にするのが一番。此書は靑年に讀ませるには壹等宜い本て、著者獨特の爽かな、そして鋭い辯舌が忍ばれます。或る大工場主が此書を讀んで感心して、數百部を買つて職工に讀ませたのてす。

定價 拾錢　郵税 四錢

多數部御買上ならば大割引します。

人生の慰安

宮川經輝著　クロース美本 三百餘頁　定價壹圓 送料十二錢

著者が最近二年間に亘る說敎の中より、特に人生及人生問題の解決に必要なるもの廿五篇を選集しました著者の雄辯は殆にソックリ文字になつて顯れてゐます。

日曜學校敎案　下卷

加藤直士編　定價廿錢郵税四錢

七月より下半年間使用す可きもの、旣に上卷は各所に御採用になり、御賛評を得ました。良著て御座います。

發兌　東京京橋區尾張町 振替東京五五三　警醒社書店　同支店　東京本郷春木町

東京市京橋區西紺屋町二十六七番地 株式會社秀英舍印行

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA